令和７(2025)年度　第１回柏崎市介護保険運営協議会（議事要旨）

１　開催日時　　令和７(2025)年７月３０日（水）　午後２時００分～午後３時３０分

２　開催場所　　柏崎市役所４階　４－３、４－４会議室

３　出 席 者　　〈委　員〉･･･１７名

杉本委員、山田（和）委員、山本委員、関矢委員、品田（峰）委員、伊部委員、原委員、村田委員、小林委員、松木委員、佐藤委員、笠原委員、山田（明）委員、夏目委員、松﨑委員、戸前委員、品田（恵）委員

〈東地域包括支援センター〉･･･２名

管理者　石黒氏、社会福祉士　大橋氏

〈事務局職員〉･･･１２名

宮川福祉保健部長

介護高齢課：武本課長、金子（智）課長代理、金子（保）課長代理、高橋課長代理、曽田係長、本間係長、山﨑係長、伊藤主任、佐藤主事

健康推進課：坪谷課長、金子（規）課長代理

４　会議資料

・会議次第
・資料１介護保険運営協議会委員名簿
・資料２第９期介護保険事業計画　令和６(2024)年度　自己評価シート
・資料３高齢者保健福祉計画・第９期介護保険事業計画　実施状況報告書について
・資料４第１０期介護保険事業計画策定に向けてのスケジュールについて
・資料５若手職員交流会及び経営セミナーに関する実施報告
・資料６介護保険運営協議会等について

【当日資料】

・座席表
・資料３－２高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画　実施状況報告書【概要版】
・令和７(2025)年度東地域包括支援センター活動報告
・柏崎市の高齢課の現状【Ｒ７(2025)年３月３１日現在】

５　議　　事

⑴　第９期介護保険事業計画　令和６(2024)年度　自己評価結果について
⑵　高齢者保健福祉計画・第９期介護保険事業計画　実施状況報告書について
⑶　第１０期介護保険事業計画策定に向けてのスケジュールについて

６　報告事項

⑴　地域包括ケアに関する活動報告（東地域包括支援センター）
⑵　若手職員交流会及び経営セミナーに関する実施報告

7　会議内容

事務局である介護高齢課長が次第に沿って会を進行する。

⑴　開会

福祉保健部長挨拶

⑵　委員紹介

⑶　議事

杉本委員長が次第に沿って議事を進行する。

ア　第９期介護保険事業計画　令和６(2024)年度自己評価結果について

事務局が「資料２第９期介護保険事業計画　令和６(2024)年度自己評価シート」に基づき説明した。

＜質疑＞

１－（２）健康管理と重症化予防の推進

Ａ委員　　高齢者健診受診率が向上した一方で、依然として未受診者数が多いとの報告だが、その理由は何か。また、対策として取り組んでいることはあるか。

事務局　　高齢者健診未受診者数が多いことの背景としては、かかりつけの医療機関を受診しているため、健診を受診しない方が一定数いることが挙げられる。
本市としては、健診未受診者や医療機関未受診者、介護保険未申請者の健康状態が不明な後期高齢者を訪問し、状況確認を行っている。また、令和７年度から健診事業は予約制を導入したが、高齢者の負担を軽減するため、昨年度、集団健診で高齢者健診を受診した方は、事前に会場を割り振り、予約をせずに受診できる体制をとっている。

２－（１）地域での暮らしを支える体制の推進

Ｂ委員　　地域支え合い事業においては、担い手不足が課題となっており、活動の継続性に不安がみられるとのことだが、見解を伺いたい。

事務局　　地域の支え合い活動の実施主体は地域住民であり、生活支援コーディネーターが地域の話し合いの場に入り、実質的な活動に結びつくよう働きかけをしている。
また、くらしのサポートセンター付随事業については、サポーターの後任者不足から、現状の活動をどのように維持していくか課題となっている地区もみられる。

２－（２）認知症施策の発展

Ｃ委員　　チームオレンジの参加登録団体はどこか。また、チームオレンジとの連携した事例はあるか。

事務局　　登録１７団体の内訳は、地域包括支援センターが７団体、介護事業所が５団体、一般企業が２団体、ＮＰＯ法人が２団体、医療機関が１団体となっている。
チームオレンジと連携した取組として、認知症の当事者やその家族が参加する認知症カフェを開催した。

3-（1）介護人材の確保・定着と介護サービスの質の向上

Ｄ委員　　離職率が改善しているとの報告があったが、介護職員の人数を教えてもらいたい。また、高校生の進学や若手職員の職場定着に加えて、キャリアチェンジの方に対して検討して

いる支援はあるか。

事務局　令和６年度介護実態調査の結果によれば、令和６年４月１日時点の介護職員数は1,196人であった。
また、令和６年度から市内高校生向けの介護講座を行っている。これにより、介護分野を選択する学生もおり、一定の成果を上げていると思う。若手職員交流会や経営者セミナーのほか、職場定着や人材確保を促す取組を引き続き検討していきたい。

３-（２）持続可能な介護基盤の整備

Ｅ委員　介護サービス事業所向けの防災減災について、補助金の在り方を含めた実効性のある支援が必要だと思うが、見解を伺いたい。

事務局　本市としては、非常用の発電機を設置していただく事業を進めている。特に、過去の災害や停電状況等を鑑みて、設置をお願いしたい施設に対しては直接アプローチをしている。あわせて、国の交付金を活用しながら、災害に備えてもらうように直接働きかけを行っている。

３-（３）安心して暮らせる生活環境と住まいの確保

Ｆ委員　救急医療情報キットの活用事例を含めた利用実績を教えてもらいたい。また、緊急通報装置については、制度見直しが必要とのことであったが具体的な対策はあるか。

事務局　救急医療情報キットについては、令和６年度の活用実態は消防本部からの情報提供待ちであるが、毎年、十数件の活用実績がある。
緊急通報装置の設置は、固定電話を所有していることを要件としているため、利用者が限定されているのが現状であるが、令和８年度に向けて、固定電話を持たない方が活用できるように検討をしているところである。

イ　高齢者保健福祉計画・第９期介護保険事業計画　実施状況報告書について

事務局が「資料３-２高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画　実施状況報告書【概要版】」に基づき説明した。

＜質疑＞

３－（１１）－ア　避難行動要支援者名簿整備事業

Ａ委員　避難行動要支援者名簿の整備に同意をしない理由は何か。

事務局　名簿登録申請書を本市から対象者に送付しているが、届いたものの、どうしたらいいか分からず申請書を提出していない方が一定数いるためと聞いている。

３－（１４）－オ　高齢者世帯等除雪費助成事業

Ｂ委員　高齢者世帯等除雪費助成事業の実績について、令和５年度と令和６年度を比較すると大幅に増額しているが、重複利用の有無も含めて、内訳を教えていただきたい。

事務局　令和５年度は小雪であったため、利用件数が少なかった。一方で、令和６年度は、豪雪かつ長期にわたる降雪の影響もあり、複数回利用する方がいたため、補助額が大幅な増額となった。

ウ　第１０期介護保険事業計画策定に向けてのスケジュールについて

事務局が「資料４柏崎市高齢者保健福祉計画・第１０期介護保険事業計画認知症施策推進計画策

定スケジュールについて」に基づき説明した。

＜質疑＞

なし

⑹ 報告事項

ア　地域包括ケアに関する活動報告（東地域包括支援センター）について

東地域包括支援センターが「東地域包括支援センター　一人ひとりの支援から広がる地域の未来」に基づき説明した。

＜質疑＞

なし

イ　若手職員交流会及び経営セミナーに関する実施報告

事務局が「資料５－１令和６(2024)年度介護・福祉若手職員交流会」及び「資料５-２令和６(2024)年度介護・福祉施設経営セミナー」に基づき説明した。

＜質疑＞

A委員　　若手職員交流会の対象職種はあるか。

事務局　　令和６年度は介護職員を対象としていたが、今年度は職種を限定せずに開催したいと考えている。

８　そ の 他

事務局より、委員報酬等の支給等を案内。

９　閉　　会